

薬学英語1B (Pharmacy English 1B)					担当教員	
					教授	フォン フー ワー
					非常勤講師	中井 久郎
					非常勤講師	山元 二郎
					非常勤講師	天野 博夫
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	非常勤講師	佐藤 えり奈
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修		

【概要】

前期で学習した基礎科学英語の内容を踏まえて、その内容を拡大して学習する。薬剤師、薬学研究者にとって必要とされる基礎用語・表現を身に着け、薬学、生命科学、医学に関する論文等を英語で読み、理解し、応用できる実用的な英語力が養われることを目的とする。かつ、基礎科学英語と専門英語に対する聞き取り能力（リスニング）を強化する。

【授業の一般目標】

この講義は、基礎的な科学英語を正確に聞き取り、英語で自分の意見を述べることができるような能力を養う。科学（特に薬学）に関する基本的な事項の習得および論文の読解・執筆に必要な初歩的な英語を理解し応用できるようになることを目的とする。

【準備学習(予習・復習)】

教科書と関する本・論文の内容を学習し、授業の前後ちゃんと予習・復習すること。CD / CD - ROMを使って、聞き取りの練習を繰り返して学習するように、教本の練習問題も必ず試みしてもらいたい。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	科学英語と一般英語の違い(11)	－上記を参照－	科学英語を理解と応用。
2	脳の神経細胞：1より大きな高数値	－上記を参照－	科学（薬学）分野で使われる高数値が読み、聞き取れ、そして表現できる。
3	－ 同上 －	－上記を参照－	－ 同上 －
4	微生物の形状・特徴：1より小さな数値	－上記を参照－	科学（薬学）分野で使われる低数値が読み、聞き取れ、そして表現できる。
5	－ 同上 －	－上記を参照－	－ 同上 －
6	実験用具・器具の具体例と使い方	－上記を参照－	実験の例を挙げて、薬学および生命科学分野に用いる実験用具・器具の応用と化学反応を習得。
7	中間テスト（＋リスニング）	－上記を参照－	項目1 - 6の理解度と用語の表現と聞き取り能力を評価する。
8	化学物質の化学分子式と名称および化学反応の表現と反応式	－上記を参照－	化学反応：反応式の表現を習得。
9	－ 同上 －	－上記を参照－	－ 同上 －
10	物体の位置、動き、方向性などの用語、生体や解剖学の慣用語など	－上記を参照－	基本的科学（薬学）英語における前置詞や専門用語の理解・応用を習得。
11	－ 同上 －	－上記を参照－	－ 同上 －
12	薬物に係る四感覚（視覚、	－上記	薬品などに応用している用語；研究、薬局法に必要な基礎用語の理解・応用を習得。

	味覚、嗅覚、触覚)の用語・表現	を参照 －	
13	－ 同上 －	－上記を参照 －	－ 同上 －
14	期末テスト（＋リスニング）	－上記を参照 －	項目8 - 13の理解度と用語の聞き取り能力を評価する。
15	総括・まとめ		

	(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書	基礎科学英語(ⅠB)第二版 2013	佐藤 えり奈 & Anthony FW FOONG	イメックスジャパン株式会社

【成績評価方法・基準】

中間試験と期末試験の成績、レポート、出席率および学習態度を総合評価。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

講義は、一方的に授業を進める方式ではなくて、質疑応答など学生自身からの働きかけを必須として指導する。

連絡方法：天野（amano@pharm.kyoto-u.ac.jp）；佐藤（erinas86@gmail.com）；中井（hisaotakako@yahoo.co.jp）；

山元（j.yamamoto1212@cello.ocn.ne.jp）；フォン（affw78@mb.kyoto-phu.ac.jp）